

# 2024年3月期 第1四半期決算補足資料

---

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2023年8月1日

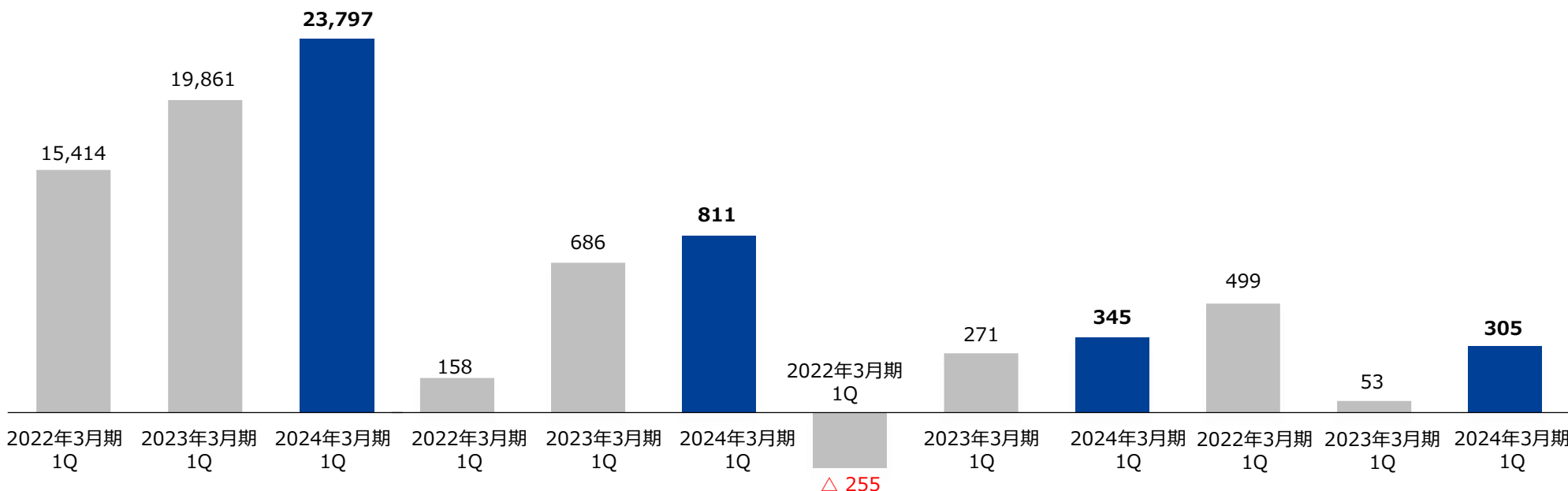


# 第1四半期決算ハイライト

## ・映像コンテンツと映像制作技術サービス\*（海外）が堅調で増収増益

（単位：百万円）

売上高	のれん償却前 営業利益	営業利益／損失	親会社株主に帰属 する当期純利益
<b>23,797</b>	<b>811</b>	<b>345</b>	<b>305</b>
前年増減額 +3,935（+19.8%）	前年増減額 +125（+18.3%）	前年増減額 +73（+27.2%）	前年増減額 +252（+474.5%）



# セグメント別実績（前年比・見通し対比）

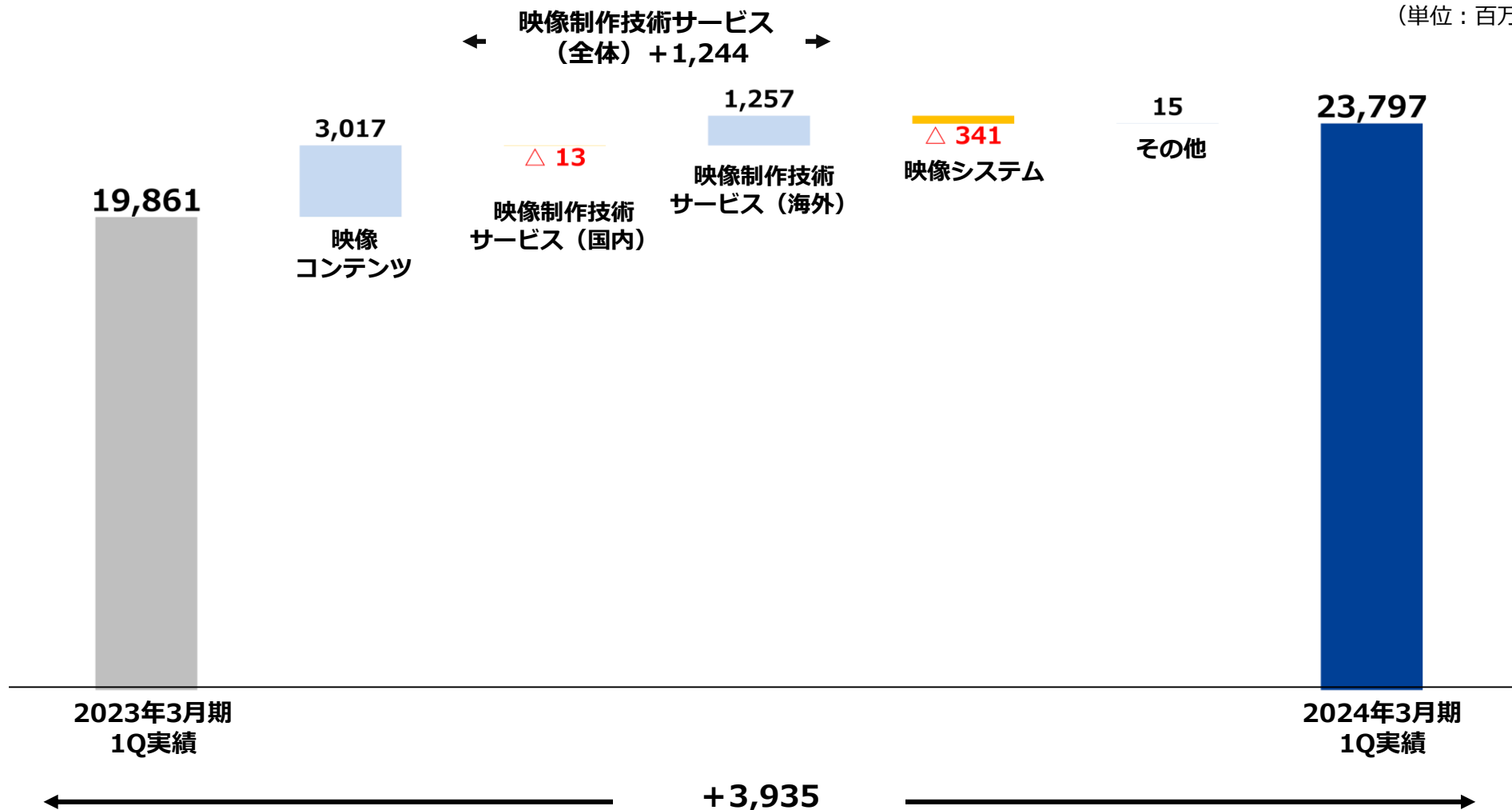
- 映像コンテンツ : 増収増益（見通し対比：売上→達成、営業利益→見通し通り）
- 映像制作技術サービス : 増収増益（見通し対比：売上→見通し通り、営業利益→達成）
- 映像システム : 減収減益（見通し対比：売上→見通し通り、営業利益→達成）

(単位：百万円)		2023年3月期1Q	2024年3月期1Q	前年増減	見通し対比	
		実績	実績		売上高	のれん等償却前営業利益
映像コンテンツ事業	売上高	4,149	<b>7,166</b>	3,017	↑	→
	営業利益／損失	△ 193	<b>49</b>	243		
	のれん等償却前営業利益／損失	△ 192	<b>51</b>	243		
映像制作技術サービス事業	売上高	11,955	<b>13,200</b>	1,244	→	↑
	営業利益	355	<b>321</b>	△34		
	のれん等償却前営業利益	759	<b>777</b>	17		
映像システム事業	売上高	4,225	<b>3,883</b>	△341	→	↑
	営業利益	325	<b>256</b>	△69		
	のれん等償却前営業利益	334	<b>265</b>	△69		
その他（連結消去）	売上高	△ 468	△ <b>452</b>	15	-	-
	営業損失	△ 215	△ <b>282</b>	△ 66		
連結合計	売上高	19,861	<b>23,797</b>	3,935	→	↑
	営業利益	271	<b>345</b>	73		
	のれん等償却前営業利益	686	<b>811</b>	125		

# 売上高の増減分析（前年比）

- 映像コンテンツで30億円増収、映像制作技術サービス（海外）も12億円増収

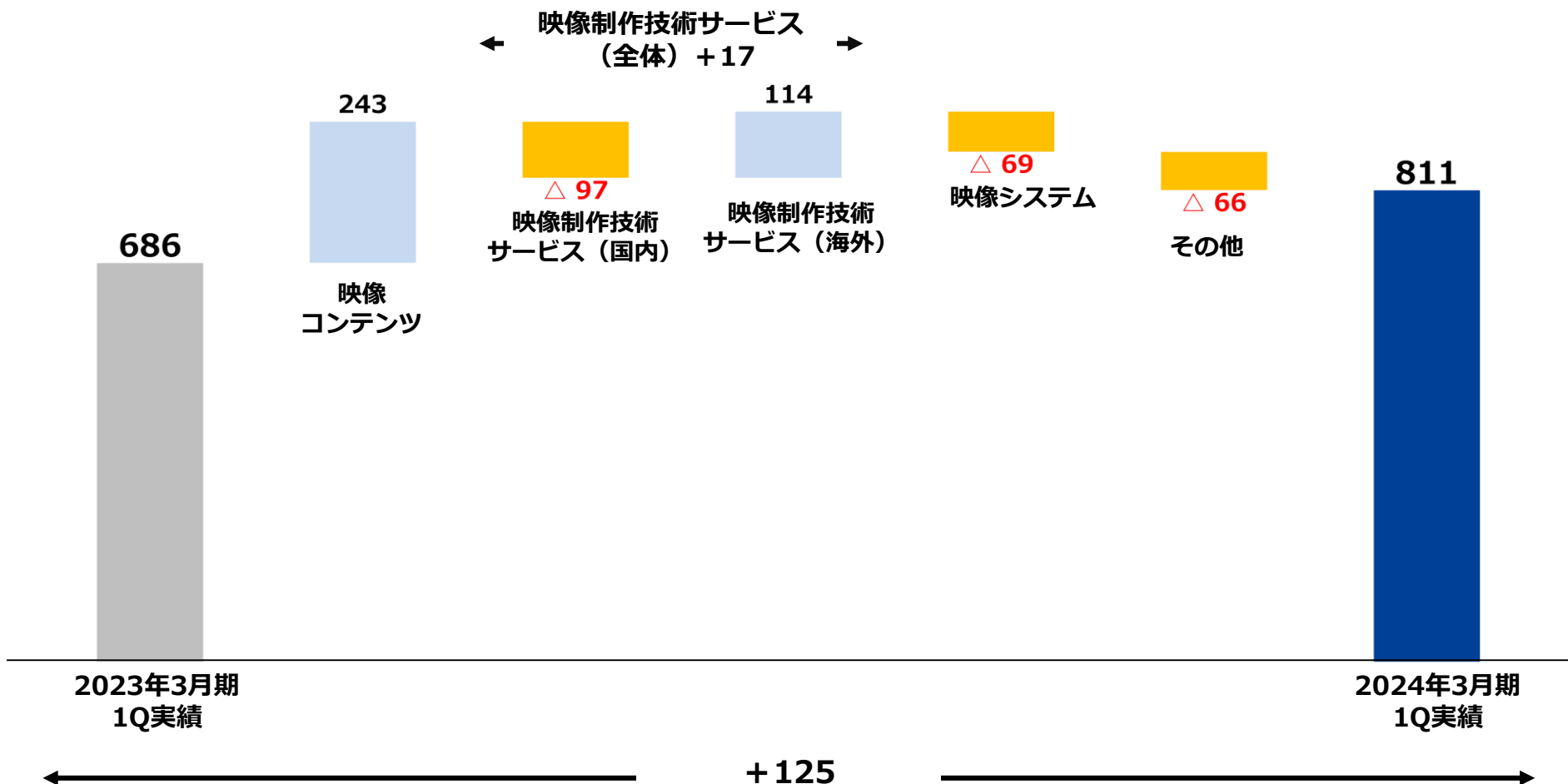
（単位：百万円）



# のれん等償却前営業利益の増減分析（前年比）

- 映像コンテンツで2.4億増益、映像制作技術サービス（海外）も1億増益

（単位：百万円）



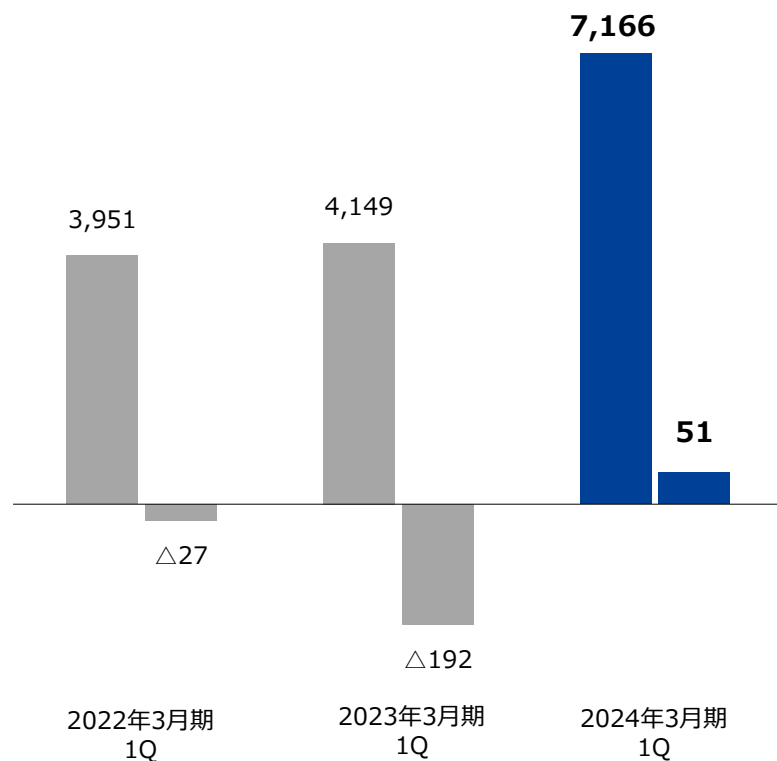
## ・ 動画配信ドラマや劇場映画の納品、ライトノベル作品の売上が堅調

### 増収増益

- 売上高 +3,017百万円 (+72.7%)
- のれん等償却前営業利益 +243百万円

左：売上高  
右：のれん等償却前営業利益/損失

(単位：百万円)



- ✓ 劇場映画・動画配信事業者\*向け作品  
大型作品の納品により大幅増収  
主な作品
  - ・ Netflix映画 『ゾン100～ゾンビになるまでにしたい100のこと～』 (8月3日に世界独占配信予定)
  - ・ 劇場映画『岸辺露伴 ルーヴルへ行く』 (5月26日公開)
- ✓ アニメーション作品  
TVシリーズの受注が順調により増収
- ✓ 出版  
ライトノベル「薬屋のひとりごと」最新刊の販売が、TVアニメ化決定の反響もあり、見込み以上に好調で増収

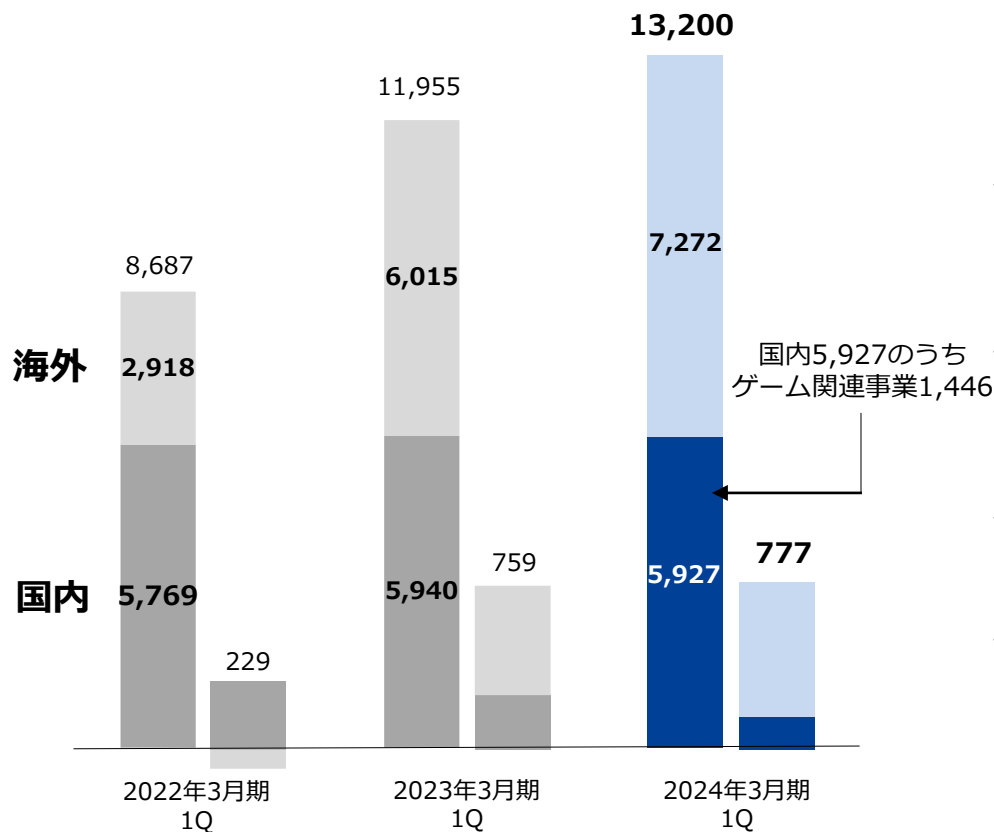


©日向夏著、しのとうご絵、イマジカインフォス発行 6

## ・ TVCM向けポストプロサービスが苦戦も海外E2Eサービス\*は増収増益

左：売上高  
右：のれん等償却前営業利益／損失

(単位：百万円)



### 増収増益

- 売上高 +1,244百万円 (+10.4%)
- のれん等償却前営業利益 +17百万円 (+2.3%)

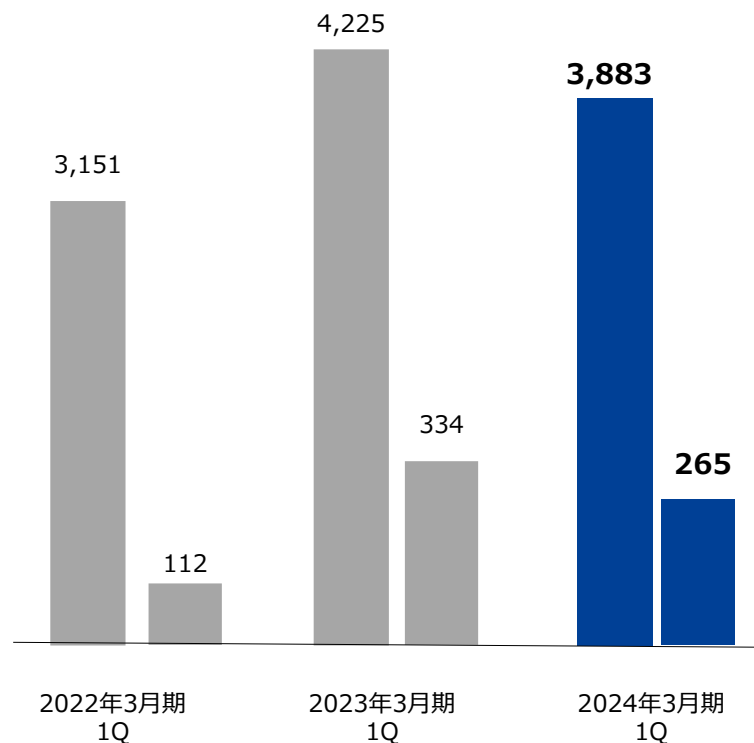
- ✓ **E2Eサービス（国内）**  
デジタルシネマ向けのサービスが堅調に推移し、売上は前年水準
- ✓ **E2Eサービス（海外）**  
劇場公開作品の増加に伴い、デジタルシネマ向けサービスや予告編制作サービスが伸長したことで増収
- ✓ **ゲーム関連事業**  
3DCG制作等の受注が堅調に推移し増収
- ✓ **TV向けポストプロダクションサービス**  
TVCM向けポストプロサービスは受注苦戦により減収

## ・ハイスピードカメラ受注好調も、光学計測と映像・画像処理LSIが減収

左：売上高

右：のれん等償却前営業利益

(単位：百万円)



### 減収減益

- 売上高  $\Delta 341$ 百万円 ( $\Delta 8.1\%$ )
- のれん等償却前営業利益  $\Delta 69$ 百万 ( $\Delta 20.7\%$ )
- ✓ **ハイスピードカメラ**  
半導体不足解消により生産回復、受注の好調により増収
- ✓ **放送映像システム**  
前年大型案件の反動により減収
- ✓ **光学計測**  
受注が見込みより落ち込み減収
- ✓ **映像・画像処理LSI**  
世界的な市場環境の悪化により減収



# 2024年3月期 通期業績予想

## ・売上高1,000億、3期連続の増益を目指す

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期		
	実績	業績予想	前年 増減額	前年 増減率
売上高	94,147	100,000	5,853	6.2%
のれん等償却前営業利益	5,738	5,900	162	2.8%
(利益率)	6.1%	5.9%		
営業利益	3,868	4,000	132	3.4%
(利益率)	4.1%	4.0%		
経常利益	3,638	3,500	△138	△3.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,864	2,200	△1,664	△43.0%
1株当たり当期純利益 (円)	86.79	49.34	△37.45	△43.1%
1株当たり配当金 (円)	15.0	15.0	0	0.0%

# (参考) 2024年3月期 セグメント別通期業績見通し

- ・映像制作技術サービスは減益見通しも映像コンテンツ等でカバーし、増益を目指す

(単位：百万円)		2023年3月期	2024年3月期	
		実績	見通し	前年比増減
映像コンテンツ事業	売上高	23,537	26,000	2,463
	営業利益	535	1,000	465
	のれん等償却前営業利益	540	1,000	460
映像制作技術サービス事業	売上高	54,128	57,000	2,872
	営業利益	2,532	2,000	△532
	のれん等償却前営業利益	4,361	3,900	△461
映像システム事業	売上高	18,930	20,000	1,070
	営業利益	2,086	2,200	114
	のれん等償却前営業利益	2,122	2,200	78
その他	売上高	△ 2,448	△ 3,000	552
	営業損失	△ 1,286	△ 1,200	△86
連結合計	売上高	94,147	100,000	5,853
	営業利益	3,868	4,000	132
	のれん等償却前営業利益	5,738	5,900	162

# Appendix.

# 基本戦略と事業セグメント別のサービス・売上高（第1四半期）

売上高（2024年3月期 1Q実績）	映像コンテンツ事業	映像制作技術サービス事業	映像システム事業	合計
グローバルに事業領域を拡大		89億円		89億円
新たなライブエンタテインメントビジネスの確立	音楽ライブ演出や ライブビューイング、 メタバースなど 6億円		スポーツイベント中継・ アーカイブなど 4億円	10億円
映像システムにおいて 新たな価値を創造			34億円	34億円
ゲーム関連事業の拡大		14億円		14億円
事業変革の完遂	映画・ドラマ・ アニメ制作・出版など 67億円	TV・CM向け編集 人材サービスなど 27億円		94億円
合計	71億円	132億円	38億円	237億円

# 連結損益計算書

(単位：百万円)	2023年3月期1Q	2024年3月期1Q		
	実績	実績	前年増減額	前年増減比
売上高	<b>19,861</b>	<b>23,797</b>	3,935	19.8%
売上総利益 (売上総利益率)	<b>5,494</b> 27.7%	<b>6,210</b> 26.1%	716	13.0%
営業利益 (営業利益率)	<b>271</b> 1.4%	<b>345</b> 1.5%	73	27.2%
経常利益 (経常利益率)	<b>306</b> 1.5%	<b>394</b> 1.7%	88	28.9%
特別利益	<b>141</b>	<b>281</b>	139	98.5%
特別損失	<b>219</b>	<b>1</b>	△ 218	△99.4%
税金等調整前当期純利益	<b>228</b>	<b>674</b>	446	195.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>53</b>	<b>305</b>	252	474.5%
EBITDA	<b>1,189</b>	<b>1,382</b>	192	16.1%
(参考)のれん等償却前営業利益	<b>686</b>	<b>811</b>	125	18.3%

※EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却 + 減価償却費

※のれん等償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)		2023年3月期末	2024年3月期1Q末	前期比	主な増減要因
資産の部	流動資産	44,970	39,817	△ 5,153	受取手形、売掛金及び契約資産
	うち現預金	7,813	6,534	△ 1,279	△4,458
	固定資産	36,917	36,480	△ 437	
	うちのれん	11,780	11,455	△ 324	
	資産合計	81,888	76,297	△ 5,590	
負債・純資産の部	流動負債	33,205	29,336	△ 3,868	支払手形及び買掛金 △1,466
	うち短期借入金	6,432	5,687	△ 744	契約負債 △1,241
	固定負債	8,378	8,108	△ 270	
	うち長期借入金	1,366	1,139	△ 227	
	負債合計	41,584	37,445	△ 4,138	
	株主資本	33,150	32,783	△ 366	
	その他包括利益累計額	2,956	3,076	119	
	非支配株主持分	4,197	2,992	△ 1,205	連結子会社の分配（配当）
	純資産合計	40,303	38,852	△ 1,451	
	負債純資産合計	81,888	76,297	△ 5,590	
	ネット資金	14	△ 292	△ 307	(現預金－長短期借入金)

## 配当方針

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項のひとつと位置づけております。配当につきましては、連結業績に応じた利益配分を基本としたうえで、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当の維持と配当水準の向上を目指しております。

なお、特別な損益等の特殊要因が当期純利益に大きく影響を与える場合は、配当の決定にあたり、基本的に特殊要因を考慮した配当性向を踏まえ、株主様への安定的な配当と今後の事業展開や内部留保の状況などを総合的に勘案し決定いたしております。

**上記方針に基づき、2024年3月期の配当予想は15円とさせていただきます。**

	親会社に帰属する 当期純利益	1株当たり 親会社に帰属する 当期純利益	配当予想	配当性向
2024年3月期予想	2,200百万円	49.34円	15.0円	30.4%

# 事業セグメント別 連結子会社一覧（2024年3月期）



\*：海外子会社

## 映像コンテンツ事業

連結子会社：9社

株式会社ロボット

株式会社ピクス

株式会社オー・エル・エム

株式会社オー・エル・エム・デジタル

株式会社オー・エル・エム・ベンチャーズ

株式会社イマジカインフォス

株式会社IMAGICA EEX

## 映像制作技術サービス事業

連結子会社：21社  
持分法適用会社：1社  
関係会社：1社

株式会社IMAGICAエンタテインメントメディアサービス

株式会社シネマコネクト

Pixelologic Holdings LLC \*

PPC Creative Limited \*

株式会社IMAGICA Lab.

株式会社コスモ・スペース

株式会社ウェザーマップ

株式会社IMAGICA GEEQ

株式会社イマジカデジタルスケープ

株式会社イマジカアロベイス

株式会社湘南ハイテク企画

## 映像システム事業

連結子会社：9社  
持分法適用会社：1社

株式会社フォトロン

フォトロン M&E ソリューションズ株式会社  
PHOTRON USA, INC. \*

PHOTRON EUROPE LIMITED \*

アイチップス・テクノロジー株式会社

株式会社 IP モーション

株式会社フォトニックラティス

株式会社イマジカライヴ



# 2023年4月～6月 主なグループTOPICS

IMAGICA GROUPと電通ライブが共同で、スケールを超えてあらゆる環境に適応する変幻自在の映像ソリューション『UN-SCALABLE VISION』サービスを開始

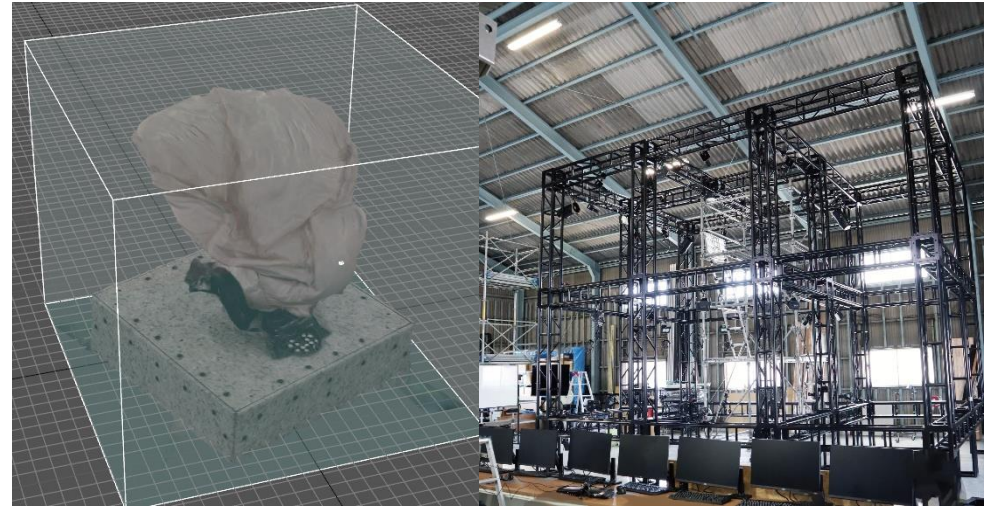


当社は、株式会社電通ライブと共に、新たな体験を創造するソリューション『UN-SCALABLE VISION（アンスケラブルビジョン）』の提供を開始します。

『UN-SCALABLE VISION』は、場所や空間に捉われず、サイズやアスペクト比にも制限されない、あらゆる環境に最適化された自由な映像表現を実現します。

[詳細はこちら](#)

フォトロン、40方向以上から高速現象を撮影し、3Dモデル動画化を可能にする「High Speed Volumetric Capture」を開発



左：3Dモデル動画によるエアバッグ展開の様子  
右：栃木テクニカルセンターに新しく設置した試験設備

当社のグループ会社である株式会社フォトロンは、数十台のハイスピードカメラを用いて、高速現象を3Dモデル動画化する「High Speed Volumetric Capture（ハイスピードボリュメトリックキャプチャ）」を開発し、2023年6月中旬より受託サービスの提供を開始しました。

[フォトロン | 「HSVC」詳細ページ](#)

## \*映像制作技術サービスの名称変更

当1Qより従来の「映像制作サービス事業」から「映像制作技術サービス事業」へ変更しております。当該変更はセグメント名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

## \*E2Eサービス

End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション(流通)のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称を指します。

## \*デジタルシネマサービス

劇場にてデジタル上映を行うためのDCP(Digital Cinema Package) 作成やDCPデリバリー、KDM(Key Delivery Message)の略で、DCPの暗号を解除するための鍵)配信等のサービスを指します。

## \*動画配信事業者

インターネットを介したプラットフォームにて動画配信を行う事業者を指します。

# お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP グループ経営管理部

〒105-0022 東京都 港区 海岸 1-14-2

Email : [ir@imagicagroup.co.jp](mailto:ir@imagicagroup.co.jp)

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

Twitter : <https://twitter.com/IMAGICAGROUP>

## 【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。